

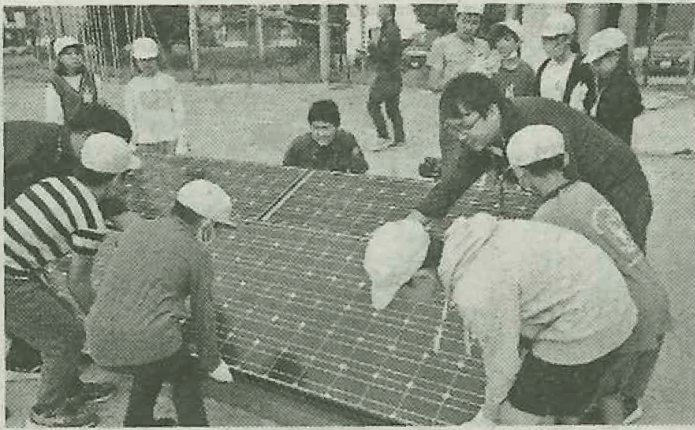
芳川小で太陽光発電の施工授業

エネジン

エネジン（浜松市中央区、藤田源右衛門社長）は22日、子どもたちにエネルギーについて考えるきっかけを作るため、浜松市立芳川小学校の5年生114人を対象とする太陽光発電の施工

体験授業を行った。写真。

授業では、同社社員らが時計や電卓、街路灯など太陽光電池で動く身近なものを紹介した後、児童らが参加し太陽光



発電システムを架台から組み立てる作業を体験。

児童らは組み上がった太陽光パネルで発電した電気が動力に変換され、扇風機や照明、ラジオが目の前で動くことに歓喜の声を上げていた。

同社は10年以上前から浜松市内の小学校を対象に同様の授業を実施し、4000人以上の児童らに太陽光やエネルギーに関する授業を実施している。